



長崎市立矢上小学校 学校だより 『笑顔が花咲く矢上小』

合い言葉「安全安心で楽しい学校」

もっと！よく学び よく遊べ

令和7年5月7日

NO. 7

校長 白水 聡

連休明け

楽しかった連休も終わりました。ご家族でいろんな思い出を作られたことでしょう。その一つが、子供たちのエネルギー、明日への活力として蓄積されるものと思います。これからも、ご家庭のだんらんを大切に、子育てを楽しんでまいりましょう。お互いに。(笑)

私は、以前読んだ本の抜粋や教えてもらった言葉を「宝言葉」として保存しています。

それを振り返っていると、皆さんにご紹介したい文章が見つかりましたのでお伝えします。

「実際に子どもが迷ったり悩んだりしているとき、すぐに口や手を出さずに寄り添いながら見守る事です。一番ダメなのは、『なんでできないの?』という言葉です。この言葉は保護者の辞書から削除してしまったほうがいいと思います。

【石川一郎氏「2020年からの新しい学力」より】

私もよく「なんでできんとよ！」とずいぶん使ってきたように思い、反省させられます。「なんで？」と聞かれてもその理由が答えられるはずもないのに。今なら「いや、できないものはできません。」と答えてしまいそうですが、子供がそう答えると間違いなく悪い状況になりそうです。(笑)

なんでできないのか、ということは、教える側が様子をよく見て考えるべきなのでしょうね。



左の本はご覧になったことはあるでしょうか？

子育てにあたっての大切なことが書かれていて、あわただしい生活の中では、なかなかそんなふうにはできないですが、それでも理想とする親の姿は描いておきたいものです。

ぜひ一度手に取って、読んでみていただけると幸いです。

この本の中に、「子は親の鏡」というフレーズがあります。

特に印象的な文章として

「認めてあげれば、子供は自分が好きになる」

というのがあります。

自分が好きになれば、きっといきいきとのびのびと生きていけます。

また、「和気あいあいとした家庭で育てば、子供は、この世はいいところだと思えるようになる」というものもあります。笑顔の多い毎日

は、きっと学力や体力と同じように、生きる力の一つだと感じました。「笑顔が花咲く矢上小」というスローガンをさらに子供たちに浸透させていくとともに、和気あいあいとした学級づくりの実現が学校のよさにつながっていくものと信じて、いじめや差別のない教育活動の充実を図ってまいります。気になることがありましたら、いつでもご相談を。

QRコードからいただいた温かいメッセージも、心の支えになるものでした。連休明けもまっすぐに張り切っていきたいと思います！

